

2017年12月20日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、グローバルに展開する米国の BtoB デジタルマーケティング会社 「DWA 社」の株式 100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746 億 981 万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、グローバルに展開する米国の BtoB デジタルマーケティング会社「David Wood & Associates Inc.」（本社：サンフランシスコ市、CEO：Bob Ray、以下「DWA 社」）の株式 100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

1996年に設立された DWA 社は、テクノロジーやデータ活用に強みを持ち、意思決定やマーケティング活動を強力に支援するサービスを提供することで、急成長してきました。現在、包括的なサービスを提供する同社は、全世界にテクノロジー、統合マーケティング、コミュニケーション戦略、デザインなどを専門とする従業員 150 名を抱えています。本拠地の米国をはじめ、欧州ではロンドン市とミュンヘン市、APAC ではシンガポール市、北京市、バンガロール市、シドニー市に営業拠点を展開しています。

今日、マーケティング関連のテクノロジーはダイナミックに成長しており、企業はデジタルトランスフォーメーションを加速させる必要に迫られています。そのため、単なるツールの整備にとどまらず、いかにテクノロジーを用いて多様なデータを分析・活用するか、どのようにオムニチャネル展開していくかなど、高度な技術へのニーズが高まっており、この領域は有望な成長市場となっています。

DWA 社の強みは、まさにこうした企業ニーズに応えるサービス提供が可能な点にあります。加えて、当社は昨年、米国独立系で最大級のデータマーケティング会社「Merkle」（マークル社）*を買収し、同社を当社グループのグローバルネットワーク・ブランドの一つとして位置づけ、マーケティング ROI（投資収益率）を最大化するサービスの世界展開を始めています。今後当社は、マークル社のケーパビリティの強化・拡充を図るため、DWA 社の事業ブランドを「DWA, a Merkle Company」（DWA・ア・マークル・カンパニー）へと改称、両社の知見・ノウハウを融合させることで、グローバルな BtoB デジタル市場において競争力の高いソリューションを提供し、成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の 2017 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【DWA 社の概要】

社 名 : David Wood & Associates Inc. (DWA 社)
本社所在地 : 米国カリフォルニア州・サンフランシスコ市
・ロンドン市、ミュンヘン市、シンガポール市、北京市、バンガロール市、シドニー市に営業拠点を持つ
設 立 : 1996年3月
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 1,990万ドル(約22.4億円) (2016年12月期)
代 表 者 : Bob Ray (CEO)
従業員数 : 150名(全世界)
事業内容 : BtoB 領域においてデジタルマーケティング領域全般のサービスを提供

以 上